



つぎのいっぽん

地域力、福祉力、市民力 チカラをあつめる、つなぐ、高める、広げる～市民が主体の地域づくりを!

地縁型コミュニティからテーマ型コミュニティへ 自治会・町内会はなくなってイイ?!

全国的に、自治会・町内会の加入率が低下しています。自治体(横浜市)が行った市民向けのアンケートの回答では、加入しない理由として、「班長や役員をやりたくないから」「ほとんど家にいない、活動に参加できないから」「何をしているかわからない、加入メリットがわからない」といったことが上げられています。

背景には、共働き世帯や単身世帯の増加、高齢者の就労年齢引き上げ等があると思われます。そして、背景となっている事象の大元には、私たちの暮らし方の大きな変化が上げられます。2000年に約240万人だった農業従事者数が2020年には約123万人と半減、商業、金融業、運輸業、情報通信業、サービス業といった第三次産業に従事する人の割合が年々増加しています。

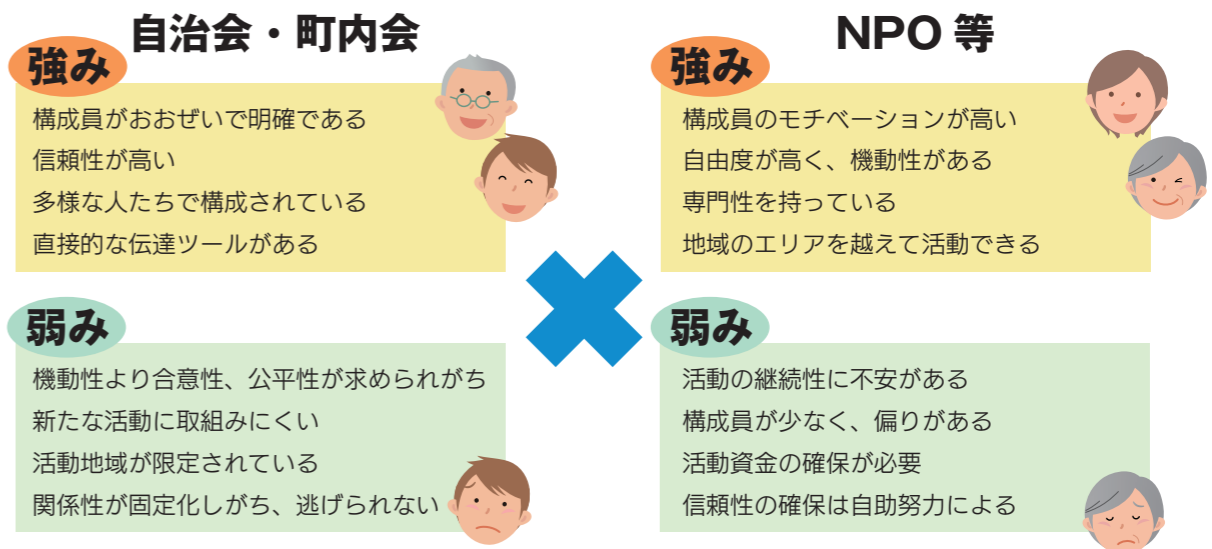
農業においては、隣近所との共同・調和が必要とされますが、いわゆる「会社勤め」においては、仕事と生活空

間が分離され、隣近所との付き合いは、あまり重要ではなくなるとも言えます。

では、ほんとうに、町内会・自治会はなくなっても良いのでしょうか? 自助、公助には限界があります。住んでいる所を、障がいがあっても、高齢になっても暮らしやすい街、子育てしやすい街にしていくためには、互いに支え合い、見守り合う仕組み=共助が大切です。しかし、自治会・町内会といった地縁組織がそのすべてを担うことは不可能です。共助社会を実現するためには、地縁組織とNPO等のテーマ型組織の協働が必要であると言えます。

NPOクラブでは、特性を活かした協働、連携ができるように、相互理解を進めるとともに、地域づくりの担い手となる人材の育成と参加の促進が急務ととらえ、活動を進めていきたいと思ひます。

自治会とNPO— 連携・協働のイメージ



互いの強みを活かし合うことで、それぞれの組織の活性化が可能に!

例えば、回覧板での広報協力やイベント(まつり等の交流企画や避難訓練等)の参加協力。

第23回NPOクラブ定期総会 記念講演会

NPOの新しいマネジメントを学ぼう ～相利評価表を使って仲間と資金を増やそう～

参加者募集

講師: 松原明さん(協力世界代表)

会員以外の方のご参加も大歓迎です。ぜひお申し込みください。

【日時】2023.6.10(土) 14:10~16:40

【会場】幕張公民館 2F 講習室(千葉市花見川区幕張町4-602)

JR幕張駅から徒歩5分。京成幕張駅から徒歩2分

定員: 25名(先着順)

参加無料 主催: NPOクラブ

申込方法: こちらのフォームよりお申し込みください。→

またはNPOクラブ下記連絡先まで、氏名、ご所属、メールアドレス、電話番号を添えてお申し込みください。



●同日同会場 13:15~14:00に、第23回NPOクラブ定期総会を行います。

2022年度事業報告、収支報告と2023年度事業計画・予算案について討議決定します
賛同会員の方も、ぜひご出席ください。一般の方も傍聴頂けます。(要事前申し込み)

NPOクラブの活動を支えてくださる 2023年度新規会員を募集しています

NPOクラブは、千葉県内全域を対象に市民活動につながる活動やNPOの支援などを通して、地域がもっと暮らしやすくなるよう地域力を高める活動を進めています。活動に賛同して下さる新規会員を募っています。

年会費(賛同会員) 1口 団体会員 5,000円、個人会員 3,000円

※NPOクラブは認定NPO法人です。賛同会費・寄付は税制優遇の対象となります。

みなで守ろう!日本の希少生物種と自然環境
SAVE JAPAN
プロジェクト 2022-2023

谷津田の米作り—田植えの参加者募集!

谷津田での田植え体験は新鮮な驚きがいっぱい!“生物多様性ってなに?谷津田の自然に触れていのちのぎわいとつながりを知ろう”をテーマに行います。日本の希少生物種と自然環境を守る「SAVE JAPANプロジェクト」の活動です。

【日時】5/6(土) 9:45~15:00

【場所】千葉市緑区下大和田谷津田

(JR千葉駅10番バス停よりちばフラワーバスで45分「中野操車場」下車、駐車場あり)

【参加費】300円(小学生以上)

【持ち物】長靴、長袖長ズボン、帽子、飲み物、弁当、敷物

【申込み・問合せ・主催】ちば環境情報センター

Email: yatsudasukisuki@gmail.com または Tel: 090-7941-7655 に2日前までにお申し込みください

【協力】日本NPOセンター、NPOクラブ 【協賛】損害保険ジャパン(株)



新しい事務局スタッフの紹介

4月からNPOクラブに入職することになりました森内夏未です。大学時代のボランティア活動を経て、地元千葉市の地域づくりに貢献したいと思うようになりました。これから活動を通してNPOや地域の活動について広め、若い世代も参加しやすい地域づくりを行っていきたくと思っています。

《編集・発行》特定非営利活動法人(認定NPO法人)ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)

〒261-0011 千葉県千葉市美浜区真砂5-21-12 TEL 043-303-1688 FAX 043-303-1689

Mail: npo-club@par.odn.ne.jp URL: https://npoclub.com

ブログ: http://blog.canpan.info/npoclub1

Facebook NPOクラブで検索 Twitter NPOクラブで検索

・運営会員22名 賛同会員98名 発行900部 会員・県内市民活動支援センター・自治体等にお届けしています。



地域でつながり、活動する人の輪を広げるために ～ちばし地域づくり大学校の事業を通して～

NPOクラブが千葉市から受託実施しているちばし地域づくり大学校(以下 大学校)の受講生69人が、今年も約半年間のカリキュラム(概要は右ページ)を2月に修了しました。この事業では、市民が地域づくり活動の担い手として、活躍できるように学ぶ場を提供しています。地域の活動を始めたい人たちの新たな一歩と、既に活動している人たちがステップアップするためのポイントを修了者アンケートから探ってみました。



修了者交流会では修了後の活動紹介も

アンケート回答のコメントから

アンケート回答を見てみると、大学校で得たものについて多く触れられているのは、大きく分けて4つでした。

- ①他の受講者との交流から学びや気づき、刺激を得た
「年代、性別、立場、経験など色々な方の意見が聞けてよかった、とても参考になった」「知らなかった活動や気づきを発表を通して知ることができ、大変参考になった」
- ②地域への理解や新たな視点を得た
「この講座を通して、『地域とは』、『地域に求められているものは』という視点が生まれた」「ボランティアは気軽にできることを知れました」
- ③自分の思いを確認、整理する機会を得た
「何をやりたいのか何ができるのか気づく場になった」「自分の妄想をまとめ、口にすることができた。(実現への)ハードルの高さがわかるとともに、今後具体化していく道筋が少し見えた」
- ④同じ思いを持つ人との出会いやつながりを得た
「千葉市の生活に対して何か活動をしたい思いを持つメンバーと知り合えた」「同じような思いを持っている人がいることがわかり、自信につながった」「皆さんの熱意が自分を奮い立たせてくれた」

など

一緒に学ぶことで得る「私自身」や地域への気づき —仲間の存在が次のステップへ後押し

前段のアンケート回答にもあるように、他の受講者や地域の情報を得たり、実地体験を経ることで、活動への参加ハードルが下がると同時に、「私自身」の思いや立ち位置を整理・確認する手がかりとなっていました。自身について整理する機会やそのための「気づきの場」は、新たな活動に踏み出す前の大事なステップだと感じました。また、次へ踏み出そうとするときに後押ししてくれたのが、仲間の存在やその熱意です。老若男女を問わず活動ペースでつながり、励ましあう関係性は、それぞれが前に進むためのノウハウや情報を交換する場ともなりました。

地域の活動の次の一歩を踏み出しやすい環境づくりを まち全体で

市内の市民活動を支援する6機関(千葉市民活動支援センター、千葉市国際交流協会、千葉市ボランティアセンター、千葉市生涯現役応援センター、千葉市生涯学習センター、千葉市生活支援コーディネーター)の事業を紹介、また約20の活動団体に活動紹介やボランティア体験の受入れに協力してもらっています。団体からは「(体験受け入れで)スタッフのモチベーションが上がった」「質問を受けることで客観的に通常の取り組みを振り返ることが

できた」などの声が聞かれました。

活動に踏み出した受講者を含め、地域づくりの人の輪を広げるには、活動意欲を維持する『人のつながり』がありながら、次のステップへ導く『情報や体験』そして自分の思いや方向性を確認できる『気づきの場』が身近にあることが大事です。まち全体で、それぞれの得意分野を活か

して相互に、活動の芽を育み続けられる環境づくりを進めていければと思います。

※アンケート回答結果の詳細な内容は、下記ブログよりご覧いただけます。
ちばし地域づくり大学校2022年度修了式を終えて



2022年度 カリキュラム(各コースごとの数字は入学者数及び修了者数)

| | 入門コース (入学19,修了19) | 基礎コース(2クラス) (入学35,修了29) | ステップアップコース (入学22,修了21) |
|----|---|----------------------------|----------------------------------|
| 1 | オリエンテーション | オリエンテーション | オリエンテーション |
| 2 | 地域社会の状況とボランティア、地域づくり活動の意義 | 地域社会の状況とボランティア、地域づくり活動の意義 | キックオフ講演会(全クラス共通) |
| 3 | キックオフ講演会 講師:勝部麗子さん 「新しい生活様式下での地域活動の取り組みについて」(全クラス共通) | | ボランティア、地域づくり活動の意義 地域活動事例から学ぶ① |
| 4 | 実地体験のためのマッチングの会① | 「まち探検」～まち歩きから地域資源を発見 | 同上② |
| 5 | 同上② | 実地体験のためのマッチングの会① | 団体運営のポイント「SNS、Zoomの活用」 |
| 6 | 実地体験① | 同上② | 団体運営のポイント「資金調達・情報発信編」 |
| 7 | 同上② | 実地体験① | 「円滑な団体運営のためのファシリテーション」基礎編 |
| 8 | 同上③ | 同上② | 同上 実践編 |
| 9 | 実地体験の振り返り(グルーブトーク) | 実地体験の振り返り(グルーブトーク) | 団体運営のポイント「広報編」 |
| 10 | これからのための交流会と情報提供 | 今後の活動に向けたヒント、市内支援機関の紹介 | 思いをカタチに「活動内容の共有とブラッシュアップに向けて」 |
| 11 | 全体の振り返り 修了式 | 地域活動プランの作成と意見交換、交流 | 思いをカタチに「地域活動プランについての意見交換」 |
| 12 | | プラン発表と意見交換① | プラン発表と意見交換① |
| 13 | | 同上② | 同上② |
| 14 | | 全体の振り返り 修了式 | 全体の振り返り 修了式 |

—2023年度 ちばし地域づくり大学校について(予定)—

地域福祉活動・ボランティア活動の担い手や地域のリーダーとして活躍できるよう学ぶ場

■これから地域で活動したい方

入門コース(定員20名、全11回)、基礎コース(20名×2クラス、全14回)

・地域の状況や捉え方など地域づくり活動についての基礎知識をグルーブトークも交えて座学で学び、地域で活動する団体での実地体験を2回行う

■既に地域で活動している方

ステップアップコース(30名、全13回)

・他団体の活動事例を参照したり広報、資金調達など運営に関わる実践的な講座で学びながら、グルーブトークで情報交換を行う

・基礎、ステップアップコースの後半では自分の地域活動プランを作成し、意見交換を行いながらブラッシュアップする

・基礎、ステップアップコース後半では自分の地域活動プランを作成、意見交換を行う

会場:千葉市民会館、千葉市役所、幕張公民館などで開催予定

クラスにより実施場所と曜日・時間が決まっております(各回2時間)、オンライン受講が可能なクラスも。修了後も修了者交流会等でフォローする。

受講料:無料 主催:千葉市 企画・運営:NPOクラブ

※2023年度の受講生募集は、7月開始予定 ホームページはこちら→



地域の活動団体での実地体験の様子